

製品名: エプシン 3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10556**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	EPN3
別名	EPN3; Epsin-3; EPS-15-interacting protein 3
遺伝子 ID	55040.0
SwissProt ID	Q9H201
免疫原	抗血清はヒト EPN3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

背景

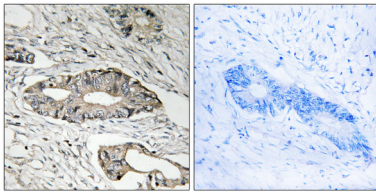
誘導: ケラチノサイトで、創傷またはコラーゲンとの接触によって誘導されます。類似性: エプシンファミリーに属します。類似性: 1つの ENTH (エプシン N 末端相同性) ドメインを含みます。類似性: 2つの UIM (ユビキチン相互作用モチーフ) リピートを

含みます。細胞内局在: 核周縁部に集中しており、細胞周縁部に近いクラスリン被覆小胞と関連しています。核へ移動することもあります。組織特異性: 創傷を受けた皮膚から遊走するケラチノサイトで検出されますが、分化中のケラチノサイトや正常な皮膚では検出されません。慢性創傷、基底細胞癌、潰瘍性大腸炎で検出される。誘導: ケラチノサイトで、創傷またはコラーゲンとの接触によって誘導される。類似性: エプシンファミリーに属する。類似性: 1つの ENTH (エプシン N 末端相同性) ドメインを含む。類似性: 2つの UIM (ユビキチン相互作用モチーフ) リピートを含む。細胞内局在: 核周縁部に集中し、細胞周縁部近くのクラスリン被覆小胞と関連している。核へ移動する可能性がある。組織特異性: 創傷皮膚から遊走するケラチノサイトで検出されるが、分化中のケラチノサイトや正常皮膚では検出されない。慢性創傷、基底細胞癌、潰瘍性大腸炎で検出される。、

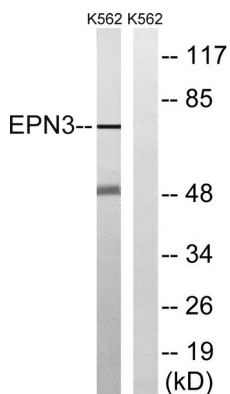
研究分野

エンドサイトーシス;

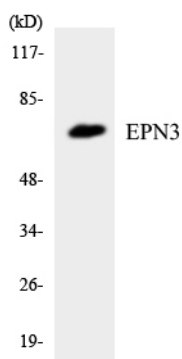
画像データ



EPN3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



EPN3 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



EPN3 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。